

科目区分：人文・社会科学

授業科目名	言語と芸術（詩と音楽の理解）					学期	曜日	校時
英語名	Language and Art (Poem and Music)							
担当 教官名	宮下茂	単位数	2単位	必修 選択	選択	前期	火曜日	2校時
授業のねらい・内容・方法								
<p>本科目は、ドイツ語と日本の歌曲を取り上げ、詩と音楽、音楽描写等、音楽、芸術と人間との関わりを知り、詩と音楽、詩人と作曲家への理解を深めることを目的とする。 主として詩や音楽の視聴により、それらの理解を深めるよう展開する。</p>								
テキスト、教材等								
<p>授業計画に沿い、詩、訳詩等のプリント資料を配布する。音楽の視聴は、CD、LD、VTRを活用する他、担当教官による歌唱も行う。</p>								
対象学生	成績評価の方法				教官研究室			
全学部	授業への参加状況による。							
授業計画								
<p>本年度は授業時間割を人文・社会科学専門委員会並びに全学教育事務室に強要されたため、十分な授業準備が出来ない可能性があります。それを理解した学生のみでの受講に限ります。</p> <p>第1回 季節の歌～春 第2回 ドイツ歌曲の歴史 第3回 「歌、歌曲、オペラ、声楽…」～言葉の違い 第4回 「歌、歌曲、オペラ、声楽…」～言葉の違い 第5回 シューベルトの詩と音楽/ドイツ語 第6回 詩は言葉の音楽 第7回 詩人と作曲家 第8回 文学的意味と音楽的表現 ～旋律について 第9回 文学的意味と音楽的表現 ～旋律について 第10回 文学的意味と音楽的表現 ～律動について 第11回 文学的意味と音楽的表現 ～和声について 第12回 文学的意味と音楽的表現 ～自然描写について 第13回 詩の形式と音楽の形式～有節形式と通作形式 第14回 コンサート「ロマン派歌曲の魅力」～ロマン派歌曲を振り返って 第15回 予備日</p> <p>本年度は授業時間割を人文・社会科学専門委員会並びに全学教育事務室に強要されたため、授業内容が計画と異なる可能性があります。</p> <p>オフィスアワー（質問受付時間）：教官研究室前の掲示参照</p>								